

# 公共下水道への 早期接続を



下水道マスコット  
キャラクター  
「スィスイ」

下水道は、皆さんの安全で快適な生活を確保し、河川、湖、海などの公共水域の水質汚濁防止に重要な役割を果たし、良好な水環境を創造するために必要不可欠な生活基盤施設です。しかし、町民の皆さんに接続して頂かなければ、下水道はその機能を十分に発揮することができません。下水道が利用できる区域で未接続のかたは、下水道への早期接続をお願いします。

問 上下水道課 ☎8410319

## 下水道はなぜ必要なの？

自然界にはある程度まで自然のシステムによる汚水の自浄作用があり、川や海でも水をきれいにする力を持っています。

しかし、工場から出る排水や、家庭から出る合成洗剤による排水などの汚れは、はるかに自然の浄化力を超えています。また、昔に比べて排水量が非常に増えたため、川や海のみだけでは水をきれいにすることができなくなりました。下水道はこれらを助けるため、幾重にも処理施設を設け、人工的なフィルターを通して水をきれいにし、自然に帰してくれます。

## 下水道の役割

### ●さわやかな生活ができます

くみとり便所が水洗便所になり、衛生的で快適な生活ができるようになります。



### ●街がきれいになります

浄化槽の排水が小水路や道路側溝に流れることがなくなるため、悪臭や蚊・ハエなどの害虫の発生を防いで、街を快適に清潔にします。



### ●川や海がきれいになります

汚れた水が川や海などに直接流れ込むことがなくなり、美しい水を取り戻します。



私たちの生活に身近な酒匂川に汚水を流してしまえばどんどん汚くなってしまいます

が、下水処理場で汚水を処理し、酒匂川に戻すことにより、酒匂川の水はきれいな水へとかわっていきます。酒匂川周辺の各市町の下水道の取り組みが大変重要となります。

## 公共下水道への接続をお願いします

下水道が利用できるようになった区域では、建物の所有者は下水道法により公共下水道への接続が義務づけられます。

くみとり便所は3年以内に水洗便所に改造しなければなりません。(下水道法第11条の3)

・台所、風呂場などからの汚水は遅滞なく排水設備を設置し、公共下水道に放流しなければなりません。(下水道法第10条)

今後も皆さんの生活環境を改善するために下水道の整備事業を進めていきますので、下水道工事へのご理解とご協力をお願いします。また、下水道が利用できる区域になりましたら、下水道への早期接続をお願いします。

## 下水道 接続工事の 流れ

- ① 見積もり・契約  
下水道接続工事は町に登録された指定工事店でなければなりません。指定工事店に見積書を依頼して工事の内容、金額について十分検討して契約してください。
- ② 工事の施工  
指定工事店が町に工事の申請を行い、町が設計審査を行ってから工事を始めます。
- ③ 工事の完成  
工事が完成し、公共下水道の使用を開始する時は、使用開始届を町に提出してください。
- ④ 工事の検査  
工事が完成した後、設計のとおり施工されているか町が検査を行います。検査に合格すると検査済証を交付します。

# 地球にやさしい ライフスタイルを

## 12月は地球温暖化防止月間

環境省では、平成10年度から12月を「地球温暖化防止月間」と定め、国民、事業者、行政が一体となって普及啓発をはじめとするさまざまな取り組みを行うことにより、地球温暖化防止に向けた国民運動の発展を図ることをしています。

暖房などで、冬はとりわけエネルギー消費が増える時期です。快適さを求めるあまりエネルギーを無駄に使い過ぎていませんか。各家庭やオフィスでの、ちょっとした心がけの積み重ねが地球温暖化防止になります。日々の生活から多くの取り組みができます。皆さんも今の生活を見つめ直してみませんか。

問 環境防災課 ☎8410314

## 地球温暖化防止のための「ライフの心がけ」

冬の省エネをしましょう  
・暖房使用時の室温を20℃にする。



## 省エネ家電を選択しましょう

冷蔵庫などの家電製品を購入するときは、地球に優しく、光熱費も節約できる省エネ型製品を選ぶ。



・暖房に頼らず、重ね着をする。

・暖房機器は、不必要なつけっぱなしをしない。

・など適切な服装を心がける。

## アイドリング・ストップと自転車を利用しましょう

・自動車の駐車時には、エンジンをとめる。  
・近距離の移動は、徒歩や自転車を利用する。



## 「知事と語ろう！ 神奈川ふれあい ミーティング」で 「開成町消費者の会」 が事例発表

### 『身近な一歩から』

平成20年11月1日(土)、足柄上合同庁舎で、「神奈川から『地球復興』を！」地球温暖化防止に向けて、今、できること」をテーマに、知事と語ろう！神奈川ふれあいミーティングが行われ、地域の活動の事例発表として、開

## 開成町の 今後の取り組み

環境基本計画事業の一環として環境学習の推進を図ります。

◆平成21年1月31日(土)、町民センターで環境講演会を開催します。(電気自動車や燃料電池自動車の試乗会なども予定)

◆平成21年2月1日(日)、産業フェスタで、電気自動車・燃料電池自動車の試乗会を予定しています。

◆平成21年度から全町で電気・ガス・水道などの使用量を記録する環境家計簿の普及を進めます。

成町消費者の会会長遠藤道子さんが日ごろの取り組みを報告し、環境にやさしい暮らしは「身近な一歩から」と呼びかけました。

消費者の会は、地球温暖化防止の取り組みとして、不要となった傘の布でエコバッグを作ったり、廃食油から石けんを作ったりしています。

また、昨年からは、二酸化炭素の削減のため、イベントなどで使用する紙コップや紙皿をリサイクルできるものに替えたそうです。主婦だからすぐ取り組めることがあるとのことでした。

活動の説明を行った後、会



長自ら「水滴が出るから」「どうせただだから」と、スパーでビニール袋を多量に持ち帰る様子を寸劇で演じました。